

東北ダンブ



【発行】全日本建設交運一般労働組合(略称・建交労)東北ダンブ支部
〒963-8025 郡山市桑野2-3-2

建交労福島ダンブ内

2026年2月1日発行 NO.44

TEL024-933-4511 fax024-921-1868

Email: fukusimadanpu@mtj.biglobe.ne.jp

決意はこんな時に!

ナンバー問題で秋田県へ

「県の建設部から通達が出て、白ナンバーは使えないと騒ぎになっている」との連絡が秋田ダンブから入りました。早速、事情を調査すると、自民党の県会議員が建設委員会で「自家用ダンブは違法なので、県当局も建設業界等に徹底しろ」と建設部長に迫ったのが発端です。この県会議員は、秋田県トラック協会(秋ト協)と懇意にしている人物で、自分の選挙を有利にするために秋ト協のお先棒を担いだものと思います。

建設部長はこの声に押されて、国交省が作成したチラシと一緒に建設業協会、採石業協会に通達を出した訳です。通達は「圧倒的多くの自家用ダンブは合法である」などと読めるものではなく、現場から自家用ダンブを一掃する様な内容でした。

東北ダンブ支部では、直ちに県当局に対して「通達文書の撤回」と組合との話し合いの場を設けるよう、鈴木知事あてに文書で申し入れました。1月9日、組合の代表と建設部の幹部が県庁で話し合いを行ない、下記の通達(赤字)を再度出すことになりました。

私は郡山から新幹線で秋田に向かいましたが、盛岡を過ぎるころから新幹線の両窓には銀世界が広がり、田沢湖辺りの絶景と呼ぶべき景色に大変感動しました。(大雪で苦労している皆さん、すいません)その日は秋田に泊まり、翌日の交渉でしたが、朝食を食べた後に2階のレストランから秋田市内を見ていた時です。

「この空の下で今日もダンブの仲間が仕事をしている。凍結した道路に細心の注意を払って、一生懸命働いている。家に帰れば家族もいるだろう。夫婦共稼ぎであっても家計の中心はダンブの稼ぎではないのか。真面目に働いているダンブ労働者の生活が、選挙で勝たれたいとか、青ナンバーで仕事を独占したいとか、そんな奴らに壊されてたまるか!今日の交渉では絶対に結果を出す、ヨシッ!」と決意をしてカップに残ったコーヒーを飲み干しました。

県の幹部は、全ト協、それとつながる県会議員に踊らされたのに気付いたようでした。二人とも常識のある穏やかな人たちで、自分たちがやったことを言い訳するでもなく、組合の説明を熱心に聞いてくれました。建設部は広いワンフロアに様々な担当課が机を並べていて、部屋の中央テーブルで説明している組合の話は、全職員が聞いていたと思います。

交渉が終わっても、秋ト協や県会議員の再度の働きかけがあるかも知れない、まだまだ安心は出来ないという気持ちでした。結果としては、建交労が提案したような通達が出されました。交渉が終わって、今日は自分でも納得の行く説明になった、朝のコーヒーを飲み干す前の決意がなかったらどうなったことかと、つくづく思いました。(M)

〈通達抜粋〉合法的に運用されている白ナンバートラック(自社の荷物を運んでいる白ナンバートラックや、車持ち労働者として建設業者等に雇用されている自家用ダンブ、ダンブ規制法に基づき「公共工事における優先使用団体」として稼働している自家用ダンブ)はこれまでどおり問題がないことを改めて周知します。

秋田県建設部長

ナンバー問題で東北運輸局と交渉



1月27日にダンブのナンバー問題について、仙台市の東北運輸局と懇談しました。(写真上)

東北運輸局からは、貨物課長と貨物課主査が応対し話し合いをしました。組合側から、全国ダンブ部会の森谷顧問から、ダンブの歴史、今回のナンバー問題の争点など、様々な資料を使って説明しました。

また、組合から具体的な白ナンバー排除の現状を訴えました。貨物課長は、「今回の貨物自動車運送事業法の改正では、白ナンバーを使った場合の荷主責任が強化されているが、ダンブが自家用ナンバーで仕事をする事についての判断基準は今まで通り何ら変わりがないし、問題ありません」と答えました。また「自家用の白ナンバーダンブ=違法という見解はもっていない。全体的な働き方を考慮して判断する」という回答し「機会を捉えて、業界団体や関係者等に正しい認識がされるように話したい。また、出先の運輸支局にも認識の一致をしている」ということです。

今回の貨物自動車運送事業法の一部改正は、**一般貨物のことが対象であり、ダンブの自家用行為の判断基準が変わったわけではありません。**

組合は引き続き、東北運輸局と情報共有し誤った解釈が蔓延しないようにそして安心して働けるよう対応していきます。



晴釣雨読(せいちゅうりどく)
オフシーズンには、「ものぐさ」でやる事も無く、転寝姿が川流水に例えられ粗大ゴミ扱いで、肩身の狭い思いをしています。か?▼オフだからこそ、日頃のゆとりを活かし、気楽に家族や仲間同士で楽しめる釣りエリアへ出かけ、ワイワイ、ガヤガヤしながら楽しんではいかがでしょう▼日頃の忙しい日常から離れて、自然の中でリラックスしながら楽しめる「釣り堀」に出かけてストレス発散するのもいいでしょう▼近年の釣り堀は、子供から大人まで幅広い層に人気があり、釣り経験がなくても気軽に挑戦出来るよう工夫され、ゲーム感覚で楽しめるようになっていきます。経験がない子供や女性でもすぐになじめる施設を見つけ出すのもオフの過ごし方である。また、これから新しく趣味を見つけた方にもピッタリのスポットが多くあるので挑戦してほしい▼私は元来、ネイティブな釣りが好きで源流釣りに、はまっていた時期が長いのでベストな情報を知りたいのか心配ですが、知り得る限りの楽しみ方、選び方を紹介しましょう▼最大限に楽しむための情報を得て、釣りの魅力を活かす計画をすることが最も大切で、何より、まず釣れる事、その釣った魚でお腹も満たされる施設が理想で、どんな方でも楽しめるエリアを探してみよう▼①道具不要の手ぶらエリアか?②釣った魚を、その施設で味わえるサービスがあるのか?③アクセスやサービス面はどうか?④安全のためのルールがあるのか?⑤エリア内にピクニックスペースがあるのか?などが必要最低限▼近年、釣り技術向上の目的で、フライやルアーフィッシング専用エリアへ釣り具を持ち込んでチャレンジする専用レーンがあるので専用か否かと、初心者に対応可能かを確認する▼現在は釣りスタイルが多様で、初心者でもベテランでも出来るよう工夫したエリアが混在しているので計画前に、念には念をいれて確認することをお忘れなく。

高橋 深峰

第40回福島分会定期大会開催

1月24日(土)郡山労働福祉会館で、東北ダンプ支部福島分会の第40回定期大会を代議員総数20名に対し19名の参加と傍聴3名、役員7名の計29名で開催しました。(写真右)

瀧柳書記長が一年間の活動報告及び決算報告、運動方針案・予算案の提案を行い、全会一致で承認されました。議事の中盤には森谷副委員長を講師に、巷で騒がれている「ナンバー問題」について、資料を基に学習会を行いました。

選出された三役は次の方々です。

執行委員長	橋本 直孝(新任)
副執行委員長	森谷 稔(再任)
書記長	瀧柳 勝彦(再任)



東北ダンプ支部福島分会・福島県本部 新春旗びらき開催

新年度幕開けである一大イベント! 福島分会と福島県本部共催の旗びらきを1月24日(土)19時より、56名の参加で郡山駅前のビューホテルアネックスで開きました。主催者を代表して東北ダンプ支部の瀧柳勝彦委員長が新年の力強い挨拶と決意を述べました。(参加者の集合写真下)

第二部では、地元の歌姫「藤めぐみ歌謡ショー」で幕が開きました。今回の出演は2回目です。元執行委員長(鈴木好信さん、通称ジャンボさん)とのデュエット曲で会場はおおいに盛り上がりしました。(写真右)

恒例の豪華景品の抽選会では、番号が呼ばれるたびに参加者は嬉しそうに景品を受け取っていました。あっという間の楽しいの一時でした。最後に団結がんばろうで締めくくりました。



世相笑々

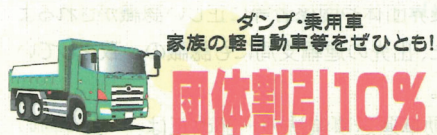
石油権益のため

独裁者が独裁者を拘束し自国の運営もままならないのにベネズエラを運営?

——無法米国

自動車保険は組合へ

新規申込受付中



ダンプ・乗用車
家族の軽自動車等をぜひとも!

団体割引10%

- ①ダンプ・乗用車15万円まで無料
- ②ダンプは特約で100万円まで保障

組合がサポート

万が一の
事故対応スムーズ



<問合せ先> 建交労東北ダンプ支部

「ダンプ・建設労働者の低単価・労働条件の改善を求める署名」(国交大臣あて)を家族、知人、友人、取引先などから集めよう。



選挙に行こう!

